

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会(略称：全要研)神奈川支部		
団体の属性	☐セルフヘルプグループ・当事者等		☑ボランティアグループ等
	☐市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	☑一般助成	☐協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	講演会等開催事業 講演会「よりよく伝わる要約筆記 ～音声言語を理解しやすく文字化するには～」 学習会「UDトークを使いこなそう！ Part3 リスピーク&パソコン文章修正」		
事業の目的	講演会：要約筆記に役立つ知識を実習を交えて楽しく学べるように企画した。邑本講師の講演は、2024年度全国要約筆記問題研究会集会全体会の再演となる。全体会に不参加やZoom参加した県内要約筆記者から、対面での講演の要望が多く寄せられた。また中途失聴・難聴者にとっても有効な内容と考えた。 学習会：リスピークと音声認識システム（UDトーク）を使い情報保障を行っている講師から対面で講義と実技指導を受けることで、将来的に神奈川県内でも情報保障の一つとして実施できるように企画した。		
事業概要	<p>『講演会』「よりよく伝わる要約筆記 ～音声言語を理解しやすく文字化するには～」</p> <p>日時・場所：11月24日 13:30～16:00 横浜市西区保健福祉活動拠点「フクシア」多目的研修室 対面</p> <p>受講者：40名 神奈川県内の要約筆記者が大半であるが難聴者も参加</p> <p>講師：邑本俊亮氏（東北大学災害科学国際研究所教授、同大学院情報科学研究科教授）</p> <p>内容：最初は「人の心を読む」トリックの体験をした。その後、要約筆記の認知プロセスの説明と、わかりにくい文例を題材に参加者と応答をかわし伝わる文章の書き方を具体的に教授された。最後は、伝える力を支えるものは、信頼関係であり、それがあってこそ伝えることが可能になるという話をされた。要約筆記は、様々な場面で難聴者との橋渡しができる活動であるが、時には傷つけてしまうこともある。対人支援としての通訳者であることを再確認することができた。</p> <p>『学習会』「UDトークを使いこなそう！ Part3 リスピーク&パソコン文章修正」</p> <p>日時・場所：1月18日 13:30～15:30 横浜市西区保健福祉活動拠点「フクシア」多目的研修室等 対面</p> <p>受講者：11名 神奈川県内の要約筆記者 スタッフ2名を含む</p> <p>講師：上林玲子氏（RoiS株式会社代表取締役）</p> <p>内容：前半は講義、後半は3チームに分かれて、リスピーク、単語登録、PCによる修正の実技を体験した。</p>		
成果や課題	<p>講演会：講師の理論的で巧みな講義技術が遺憾なく発揮され、参加者が楽しく学べた。今後の要約筆記活動への良き学びとなった。企画段階では、多くの人が参加できるようにハイブリッド方式を予定していたが、講師のZoom講義を経験した者からパソコンの小さな画面では良さが伝わらないし、実習のやりとりもあるとの意見を受け、今回は対面のみでの開催とした。ハイブリッド形式での講義の上手な運営は今後の課題である。</p> <p>学習会：参加者を少数に絞り対面で実施するのは学習効果が高いが、費用対効果の面が課題である。勉強を続けたいという参加者のために、今後もうける範囲で支援をしていきたい。</p>		
今後の展望	<p>『報告会・交流会』：難聴者団体主催イベントの参加報告会や県内の中途失聴・難聴者と要約筆記者との要約筆記に関する話し合いをテーマにした交流会を考えている。</p> <p>『学習会』：音声認識を使用した情報保障に関する学習会を考えている。</p>		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	 <p>主会場（多目的研修室）の様子</p>		 <p>YouTubeで音声を聞きながらリスピーク体験中（点字製作室）</p>